

ふじやま だより

第26号

発行 2005年

2月15日

本郷

ふじやま公園

運営委員会

古民家の初春

——七草粥と子ども遊びと初釜——

薄日の差す1月9日に「七草粥と子ども遊びと初釜」のイベントが催されました。

当日は朝早くからボランティアの人たちが七草粥作りや双六・カルタ・羽根つきなどの遊び道具のセッティングに追われました。

この日のメインはなんといっても七草粥です。古民家のカマドに架けた大きな二つのお釜から美味しそうな湯気が立つと一杯50円の食券はどんどん捌けました。暖かいお粥には春を呼ぶ七草とお餅が入っていて、ご家族連れの方々などが古民家の板の間にテーブルを囲んで座って舌鼓を打ちました。中には「初めて食べる」という若いご夫婦もおられました。

みなさんは春の七草を言えますか。カマドの側で給仕をしていたボランティアの女性が「せり、なずな、ごぎょう、はこべら、ほとけの座、すずな、すずしろ」と歌うように言ってくれました。さらに、「すずな」はカブ、「すずしろ」は大根のことと聞いてびっくり。



畳の間には百人一首、カルタ、双六が広げられて、福笑いには二人の女の子が「むずかしい」と言いながら、目隠しを取って出来上がった顔を見ては笑いあって楽しそう。庭ではたくさんの人たちが羽根つきや竹とんぼに夢中。大きなこまに縄を巻こうと格闘していた男の子がようやく上手に地面でこまを回すことができガッツポーズ。生まれて初めてお手玉に触ったという女の子は、ボランティアの女性から15分ほど手ほどきを受けてうまくできるようになって、満面に喜びがあふれていました。年配の男性は「羽根つきもやった、剣玉もやった、お正月の遊びは一通りやった。次のイベントはなんですか。」と嬉しそうに尋ねてくれました。午後からは初釜で古民家の新春をしめくくりました。

身近なところに歴史発見!

——第三回栄区歴史双六探訪——

1月16日、第三回栄区歴史双六探訪が実施されました。当日は朝から冷たい雨が降る中を元気な仲間が9時半にふじやま公園に集合。まずは古民家の土間で地元有力者家の柳下さんから、鍛冶ヶ谷一帯には製鉄の技術者が多く住んでいたと思われることなど全体の説明を聞いてから出発。

コースはふじやま公園長屋門を出て、柳下さんのお話を聞きながらふじやま富士講碑—子の神日枝神社—相武国境の碑—七曲がり開拓碑—七曲がり旧道—鍛冶ヶ谷八幡—宮ノ前横穴古墳—鍛冶ヶ谷村の有力者柳下家—道祖供養碑道標—曹洞宗本郷山正翁寺と歩いて14:30に解散しました。

★歩きながら見聞記★

○ふじやま富士講碑

民間信仰の記念碑である富士講碑は弘化年間(1844~1848)に建てられたようです。富士山を望むこの山は昔から「ふじやま」と呼ばれて親しまれ、以前は毎年8月1日にふじやま祭りが行われていたそうです。

○子の神日枝神社

中野町の鎮守さまで、農業の神さまとしても信仰されています。丁度どんど焼きの真最中で、訪れる人たちが次々とことしのお飾りを火に投げ込んでいました。

○相武国境

元大橋公園内に本郷郷土史研究会が建てた相武国境の碑があります。この上の尾根が相模国と武蔵国の国境で、今は栄区と港南区の区界です。

○七曲がり開拓碑

このあたりの村の有力者や農民が自分たちの力で作った道の記念碑で、七曲がりバス停の側の山際に建っています。碑の右上部が欠けているのが特徴的です。

○七曲がり旧道

七曲がりのバス停から20メートルほど離れた地点から続く旧道です。バス通から7~8メートルの高所の道を、角を曲がるたびに一つ、二つと数えながら歩いて皆で七曲がりを実感しました。



正翁寺



鍛冶ヶ谷八幡

(次ページに続く)

(前ページから続く)

○鍛冶ヶ谷八幡

鍛冶ヶ谷町の守り神の鎮守さまを祭っている神社で、拝殿の両側には応神天皇と思われる人物が彫刻されていました。境内にはいくつかの庚申塔があって、寛文8年(1668)阿弥陀庚申塔は本郷で一番古いとのこと。

○宮ノ前横穴古墳

7世紀ごろに作られたと思われる横穴古墳が25基もあります。古墳には掘った手斧の跡もきれいに残されていました。奥壁に棺室のついたものもあって、鍛冶ヶ谷式と呼ばれているそうです。

○鍛冶ヶ谷村の有力者柳下家

小岩井、大谷と共に鍛冶ヶ谷に昔から住んでおられる有力者のお宅です。

○道祖供養碑道標

横浜道はこのあたりの村の有力者や農民が自分たちの力で作った、横浜に通じる道で、この道標には“ぐみょうじ横浜道”と刻まれていました。横浜市の地域文化財に指定されています。

○曹洞宗本郷山正翁寺

昔、大谷氏が僧月聖を招いて一族のために正翁庵を開設、慶長6年(1601)正翁禅寺として開いたそうです。

参加された方は一様に自分たちが住んでいる地域の奥深い歴史に満足の様子でした。この栄区歴史双六探訪は今後も続けるそうです。

竹馬を教えて!



—— 公田小学校に出張授業 ⇒

お礼に「しらさぎまつり」ご招待 ——

去年12月に公田小学校から「子どもたちに竹馬を教えて」という依頼が生涯学習センターを通して、ふじやま公園事務局にありました。これを受けて早速ふじやま公園の藤井さんと花見さんが竹を準備して公田小学校に出張授業で竹馬のつくり方や乗り方を教えてあげたそうです。

すると今度は、お礼の手紙といっしょに同校の「しらさぎまつり」への招待状が届きました。当日の1月22日、花見さんはあいにく都合がつかなかったので藤井さんだけが再び同校を訪れました。

しらさぎまつりは公田小学校の全児童が力を合わせた文化祭です。招待状をくれた2年生の子達は「昔遊びの名人になろう」というテーマで、お手玉や竹馬の名人になるコツを教えていました。他にはゴミ問題やお米についての発表などもあって、大勢の人たちが来て盛況でした。

竹馬が縁でふじやま公園と地域の人たちとの交流が深められそうです。

投稿のお願い 広く皆様からの「ふじやまだより」への投稿をお待ちしております。俳句でも川柳でも、「ふじやま古民家」に関する気になるトピックスでも、「ふじやまだより」に対するご意見、ご感想でも。「ふじやまだより」が、より皆様の身近なものになりますようにご協力下さい。

広報部会長

催物

奮ってご参加ください お待ちしております

1 本郷ふじやま公園の山桜を愛でる花見会

- ◆ 日時 : 4月3日(日) 10時~15時 (雨天決行)
- ◆ 内容 : 竹づくしの野点、特設舞台での元禄花見踊り・琴演奏・南京すだれ・他
- ◆ 参加費 : 見学(無料)、カッポ酒・おにぎり・みそ汁・花見団子等(有料)
花見弁当 ¥1,500 (要予約 3月20日までに公園事務所まで)
野点茶菓子代 ¥300

2 教室案内

教室名	日時	内容	定員	参加費	応募期限
植物画体験 (全4回)	4月4日,5月9日, 6月6日,7月4日 各月曜日 13時~16時	水彩絵具による 植物の精密描写	12名	無料 但し画材等 はすべて各 人負担	3月25日(金)
作って遊ぼう (子ども工作の 日)	4月17日(日) 10時~15時 (時間内なら何時で も参加自由)	物作りの楽しさを 体験し、出来上った 物で遊ぶ。クラフ ト、粘土、竹細工等	なし	無料 (材料、道具 は公園で準 備します)	申し込み不要
タケノコ掘り 体験	4月9日(土) 9時30分~13時 雨天時は4月10日 (日)に順延 持参品・・・弁当、水筒、タオル、軍手	本郷ふじやま公園 内の竹林でタケノ コ掘りを体験してい たきます	20家族 但し 1家族 4名 以内	1人300円 (昼食時に だします タケノコ料 理代)	3月25日(金)
染色 (全3回)	4月12日,5月10日, 6月14日 各火曜日 13時~16時	草木染	12名	1作品 2000円 (材料費)	3月25日(金)
初心者茶道 体験	4月23日(土) 13時~16時	講師:裏千家 志村宗道先生 (平服で気楽に)	12名	500円 (茶菓子代)	4月15日(金)
伝統工芸 「鎌倉彫」を 彫る(全3回)	4月24日,5月8日, 22日 各日曜日 13時~16時	径21cmの丸皿を 彫る	12名	2500円 (材料費)	3月31日(木)

(1) 定員 : 応募者多数時抽選

(2) 応募要領 : 往復ハガキに、教室名、氏名(ふりがな)【「タケノコ掘り」については参加者全員・子どもは学年も】、〒、住所、電話番号を書いて応募期限までに本郷ふじやま公園へ

※『ひな祭り』甘酒の販売数について

第25号(1月15日)で先着200名様に販売とご案内しましたが、都合により先着100名様にさせていただきます。当日はお早めにおいでください。

お知らせ

- ・休館日 : 3月2日(水)
- ・クリーンアップ作業日・時 : 3月1日(火)、15日(火) 10時~11時

古民家ゾーン ご利用案内

- ◎開館時間 : 9:00~17:00
- ◎休館日 : 毎月第1水曜日(祝日の場合はその翌日)
- ◎入館料 : 無料

- ◆ 本郷ふじやま公園運営委員会
〒247-0009 栄区鍛冶ヶ谷1-20
Tel:896-0590 Fax:896-0593
- ◆ 緑政局中部公園緑地事務所
Tel:711-7802 Fax:712-6260